



2月27日（木）、2年生の個人探究発表会を本校の各教室に分かれて、全員が発表しました。1年生も各自個人探究の問いを決めたところで、先輩の発表を静かに聞き入っていました。

すべての2年生の、特徴のあるテーマが一覧表にまとめてある資料を見ると、全部聞いてみたい思いに駆られましたが、見られるところをのぞいてみました。

「色彩による認識の変化について」は、色による感じ方の違いを自分の興味のある絵画を原点として、自分なりの「なぜ？」を追求していました。美術の方面への進路を考えているようで、将来を見据えた探究としようとしていたのではないかと思います。

「雑草は野菜になりうるのか」は、実際に食べたりする実験などを想像していましたが、ここでは防災植物という視点や栄養素といった視点でのアプローチからの発表でした。過去の探究発表会で、「雑草をお茶にできないか」といった面白いテーマがあり、当時ご指導いただいた信州大学農学部細見先生が感心されていたことを思い出しました。

「使い捨てカイロを鉄粉なしで作れるのか？～別の金属で代用して実験してみよう～」は、銅、亜鉛、アルミニウムなどを使って発熱の状況を実験したことを発表していました。この生徒は、「実験は実に楽しい」と言わんばかりに楽しそうに発表していたように見えました。カイロ使用後の使い道として、植物の肥料として使えるということが私にとって新たな発見でした。

「栽培で竹パウダーを使用した時の環境と作物の変化はどうなるのか？」は、大学の先生から講義を受けた「アカデミックチャレンジ」と郷土愛プロジェクトの地域の専門家から話を聞いたことから「竹パウダー」について探究しようと考えたようです。竹パウダーとは専用の粉砕機で竹を粉状にしたもので、土壌改良剤として使うと、乳酸菌の力で野菜の甘みや葉物の育ちが良くなるようです。伊那谷ではこの竹パウダーは作っていないようですが、ハツカダイコンとカイワレを使っ



「色彩による認識の変化について」



「雑草は野菜になりうるのか」での質疑応答



「栽培で竹パウダーを使用した時の…」での発表と質疑応答

と頼もしい抱負を述べていました。